

2018 (h30) 年度よりそい専門研修会 受講者募集のご案内

司法と福祉の架け橋をめざして!



I. 募集要項

1. 趣旨・目的:

支援の必要な矯正施設退所者の実態や課題を学ぶとともに、相談や支援のスキルを高めていくための体系的、総合的な研修を行い、支援者の育成と広範なネットワークづくりを行います。特に、刑事手続や少年司法手続、施設内・社会内処遇について、当事者の視点から理解することを試みるとともに、犯罪行為の背景にある社会的孤立などの要因に着目した福祉的支援の役割を参加者の皆さまと考えたいと思います。

2. 主催・後援:

主催) 一般社団法人 よりそいネットおおさか (大阪府地域生活定着支援センター受託団体)
後援) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会・公益社団法人 日本社会福祉士会

3. 日時・会場 (詳しくは、後掲の「研修会日程・概要」「会場図」等参照):

- 2019年2月1日(金) …13:30~16:00 (会場:エル・おおさか 7階 708室) =「特別講義」
- 2019年2月7日(木) …09:15~16:45 (会場:大阪府社会福祉会館 5階 503室)
- 2019年2月8日(金) …09:15~17:00 (会場:大阪府社会福祉会館 5階 503室)

☆オプション研修 (本研修受講者限定) =矯正施設見学…講義終了以降別日程で開催予定

4. 募集区分別定員・受講料 (先着順受付で、定員になりしだい締切りします):

区分	定員	受講料
①全日程 (3日間) 受講	50人	会員=10,000円・非会員=15,000円
②2/7・8日の2日間受講		
③2/7 or 8日の1日を受講	各日 10人	会員・非会員=8,000円
④2/1日受講 (参加)	100人	資料代=1,000円/人 (但し、①~③の受講生不要 /個人会員本人と法人会員2名は無料)

☆オプション研修 (本研修受講者限定) は無料 (但し、集合場所までの交通費は自己負担)

5. 受講対象: 障がい者・高齢者等のサービス事業所・施設関係者、矯正・更生保護に携わる人、行政関係者、司法関係者、福祉的支援に携わる方 ほか

6. 申込方法: 所定の申込書 (WEB申込可) による申込 (先着順受付) と指定日迄の受講料納付

Ⅱ. 研修会日程・概要

※都合により講義順番が変更になる場合もあります。

タイムテーブル	講師（所属）	テーマ及びねらい
1日目（2月1日） 講義-1（特別講義） 13：30-16：00	中村 正 先生 （立命館大学大学院人間科学研究科教授）	「犯罪と社会」…罪を犯した人々の人生に寄り添うことの意義について掘り下げていきます。司法に関わる支援の、矯正や更生をこえる奥行きと広がり社会病理学から理解します。

（註）「講義-1」は、「特別講義」として、2月1日（金）午後開催…別紙案内ちらし参照

タイムテーブル	講師（所属）	テーマ及びねらい	
2日目（2月7日）	講義-2 09：15-10：45	安田 恵美 先生 （國學院大学准教授）	「被疑者・被告人段階での流れ（成人）」…刑事手続の仕組みや流れ、被疑者・被告人段階でのダイバージョンに向けた取組みを学ぶ。
	（休憩 15分）		
	講義-3 11：00-12：30	森久 智江 先生 （立命館大学法学部教授）	「少年法って何のためにあるの？」…主に、少年が事件を起こした際の審判の流れや保護処分等について知り、少年司法の役割について学ぶ。
	（お昼休憩）12：30-13：15（45分）		
	講義-4 13：15-14：45	西原 実 先生 （保護観察官/京都保護観察所）	「社会内処遇の流れと実際」…主に保護観察の状況や更生保護の沿革、内容について学ぶ。
	（休憩 15分）		
	講義-5 15：00-16：30	金子 宏明 先生 （前社会復帰調整官/山口保護観察所保護監察官）	「医療観察法の流れと実際」…心神喪失者等医療観察法の内容と社会復帰のための処遇について学ぶ。
本日の講義等振り返りレポート作成＝16：30-16：45…本日終了			
3日目（2月8日）	講義-6 09：15-10：45	金澤 真理 先生 （大阪市立大学大学院法学研究科教授）	「施設内処遇の流れと実際」…有罪の実刑判決を受けた当事者が、刑事施設の中で直面する刑罰制度の仕組みや処遇の内容、その意義などを学ぶ。
	（休憩 15分）		
	講義-7 11：00-12：30	大岡 由佳 先生 （武庫川女子大学文学部准教授）	「被害者と加害者のトラウマ—当事者理解の視点から」…被害者の現状理解に加え、TIC（トラウマインフォームドケア）の視点から加害者の被害者性への対応について学ぶ。
	（お昼休憩）12：30-13：15（45分）		
	講義-8 13：15-14：45	水藤 昌彦 先生 （山口県立大学社会福祉学部教授）	「犯罪行為者への福祉による支援：役割と課題」…非行や犯罪をした人への福祉による支援の役割や意義、留意点などについて学ぶ。
	（休憩 15分）…会場設営		
参加者交流会 15：00-16：45	参加者相互のつながりづくり、ネットワーク構築を行い、今後の自らの業務遂行に役立てて戴くために、参加者相互の交流会を行う（修了式も併せ実施）。		
本日の講義等振り返りレポート作成＝16：45-17：00…終了			

Ⅲ. 講師プロフィールのご紹介

講師お名前	プロフィール
講義-1 	中村 正(なかむら ただし)先生 立命館大学大学院人間科学研究科教授。立命館大学法学部卒業後、大学院で社会学（社会病理学）を専攻し、現在は、臨床心理や対人援助に関する専門職を養成する大学院で教える。暴力と虐待、主に加害についての臨床を行いながら研究し、現場は、少年刑務所での性犯罪者処遇、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、男性問題相談にかかわる民間団体でのDV加害男性向けグループワークなどを実践。NPO 法人では本邦初の京都コミュニティ放送（FM ラジオ局）の実現にも携わり、3年程パーソナリティを務めた。きょうとNPO センター理事長もつとめる。
講義-2 	安田 恵美(やすだ めぐみ)先生 國學院大學法学部准教授。國學院大學法学部で刑事政策や犯罪学の講義を担当している。高齢犯罪者を対象として、彼ら・彼女らが犯罪をするに至った背景にある「傷つきやすさ vulnerability」ゆえの「社会的排除」に注目しながら、彼ら・彼女らが行った犯罪、彼ら・彼女らに科される刑罰、そして、釈放後の「暮らし」について日仏の議論状況や法制度等を比較しながら、研究を行っている。(著書)主な著作として、『高齢犯罪者の社会復帰と権利保障』（2017、法律文化社）などがある。
講義-3 	森久 智江(もりひさ ちえ)先生 立命館大学法学部教授。犯罪学、少年法、刑事訴訟法を専門としている。(略歴)九州大学法学研究科助教、立命館大学法学部准教授を経て、2017年より現職。犯罪をした人の社会復帰と犯罪現象に向き合う社会のあり方について、Restorative Justice の観点から研究。近年は主に犯罪をした障がいのある人への対応に重点をおいて研究続けている。(著書)主な共著として、『司法と福祉の連携』の展開と課題』（現代人文社、2018）、『司法の期待に福祉はどう応えるのか～福祉の自立性と司法との連携～』（2016年、独立行政法人国立重度知的障害者施設のぞみの園）など。
講義-4 	西原 実(にしはら みのる)先生 京都保護観察所 保護観察官。 (略歴)平成元年 法務省 京都保護観察所に採用。以後、奈良、大阪堺支部、大阪、和歌山、神戸保護観察所など近畿管内の保護観察所を転々として勤務し、現在に至る。福祉のケアを必要とするケースの対応に疑問を持ち、 国立のぞみの園が実施する双方向研修に3年前から講師として参加している。
講義-5 	金子 宏明(かねこ ひろあき)先生 山口保護観察所保護観察官。精神保健福祉士、社会福祉士。(略歴)山口県立大学健康福祉学研究科博士前期課程修了。社会福祉協議会、美祢社会復帰促進センター（官民協働の刑務所）を経て、平成25年より法務省山口保護観察所において社会復帰調整官として勤務。平成29年より現職。また、平成20年から現在まで、Y I C看護福祉専門学校非常勤講師。(著書)共著「事例で深めるソーシャルワーク実習」（2014年 中央法規出版）等。
講義-6 	金澤 真理(かなざわ まり)先生 大阪市立大学大学院法学研究科教授(略歴)東北大学法学部卒業、同大学院法学研究科博士後期課程修了、山形大学講師、助教授（学校教育法により准教授に変更）を経て2010年より大阪市立大学法学部教授。2003年から2004年にかけてドイツ・フライブルク大学刑法法理論研究所客員研究員(研究)刑事法、特に未遂論、中止未遂論、社会内処遇論を主として研究。(著書)『中止未遂の本質』（成文堂、2006年）。
講義-7 	大岡 由佳(おおおか ゆうか)先生 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授。精神保健福祉士・社会福祉士。(略歴)関西大学社会学部卒業後、久留米大学大学院博士課程修了し、2008年に博士（保健福祉学）取得。帝塚山大学心理福祉学部の助手・講師を務めたのち、2010年より武庫川女子大学に着任。(著書)著書・訳書等に「犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド」（2016年 金剛出版 監訳）、「こころの健康シリーズⅥ 格差社会とメンタルヘルス…犯罪被害者とメンタルヘルス」（2014年 日本精神衛生会）など多数。各種委員や講演なども行う。
講義-8 	水藤 昌彦(みずとう まさひこ)先生 山口県立大学社会福祉学部教授。専門は司法福祉、フォレンジック・ソーシャルワーク、刑事政策。(略歴)2001年からビクトリア州政府ヒューマン・サービス省にて、障害のある犯罪行為者への対応などに関わる。2008年より社会福祉法人北摂杉の子会勤務を経て、2011年山口県立大学社会福祉学部准教授。2017年より現職。独立行政法人国立のぞみの園参事を兼務。(著書)主な共編著書に『「司法と福祉の連携」の展開と課題』（2018年、現代人文社）、『更生支援計画をつくる：罪に問われた障害のある人への支援』（2016年、現代人文社）などがある。

< 参加申込書 > FAX: 06-6762-8645

※申し込み締切日:平成31年1月30日(水)必着

※下欄をご記入の上、【受講申込区分】の“受講申込”欄の受講希望区分に、必ず○印をしてください。

ご所属	(会員・非会員)の別		
(ふりがな) ご氏名		職 種	
ご住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
E-mail (必須)			

【受講申込区分】

↓①～④受講希望区分に、必ず○印

区 分	定 員	受講申込	受 講 料
①全日程(3日間)受講	50人		会員=10,000円・非会員=15,000円
②2/7・8日の2日間受講			
③2/7日の1日を受講	10人		会員・非会員=8,000円
④2/8日の1日を受講	10人		
☆オプション研修参加ご意向	—		①～④の受講者は無料

注) 1: 2/1日の「特別講義」のみを受講(参加)希望の方は、特別講義案内チラシの「参加申込書」をご使用ください。
 2: 受講申込の方には、オプション研修の施設見学の対象施設及び日程を追ってご連絡します。
 3: 申込については、当団体HPから参加申込書をダウンロードできますし、WEB申込も可能です。

<会場案内図>

●エル・おおさか(2/1日)7階708室
住所)大阪市中央区北浜東3-14

●大阪府社会福祉会館(2/7・8日)5階503室
住所)大阪市中央区谷町7-4-15



- 京阪線・大阪メトロ谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪線・大阪メトロ堺筋線「北浜駅」より東へ500m



- 大阪メトロ 谷町線「谷町6丁目駅」
- ③番地上出入口より南西約500m(徒歩約7分)

【お問い合わせ先】

一般社団法人よりそいネットおおさか(大阪府地域生活定着支援センター受託団体)
 〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15 大阪府社会福祉会館2階
 (TEL) 06-6711-0130 (FAX) 06-6762-8645
 (ホームページ) <http://yorisoi-osaka.jp/>